

麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【樹木も夏の準備！】

樹木は、枝先まで葉をいっぱい広げ暑い夏を乗り切り、活発に光合成をして体内に養分を蓄えて育っていきます。



【7月 エコ教室（緑の優しい環境づくり）】

日時：7月12日（日）10:00～12:00

内容：「苔玉と関守石づくり」

場所：とんがりふれあい館（交流施設）ホール

定員：15名 ※事前予約受付します。

◇夏期の記念樹交付及びみどり講習会は、
ありませんが、記念樹交付の申請は受付
しております。



ガーデニングワポイント

【水やり】 記録的に少なかった降水量もここきて雨が降り始め、やっと樹木の根に水が届きました。特に植え替えた樹木は水を必要とします。乾燥するとすぐにしおれてしまいます。根に届くように樹冠からどっぴりとあげてください。水やりが大変になるのは梅雨明け後です。日中を避けて朝晩にあげるようにします。

【肥料】 多くの樹種は、この時期には必要ありません。ただ花後には（アジサイ、サツキツツジなど）、お礼肥として窒素成分が低めの「化成肥料」を与えます。そうすることで次の花芽が出来やすくなります。

【病害虫防除】 今年もアメリカシロヒトリが発生してきました。このようなイモムシ類（ケムシ）は、発生初期に拡がらないうちに退治します。咲き始めたムクゲやこれから咲き始めるサルスベリには、アブラムシが付いているのを多く見かけます。そのままにしていると「すす病」が併発し、とても酷い状態になってしまいます。カイガラムシもいっぱいいたりします。ハナミズキなどには、「うどん粉病」が出ています。葉の表面に、白い粉がふいた様になり、この病気は梅雨明け後にいっきに発生します。酷い時には、早期に落葉し樹勢が弱ってしまう事もあります。カエデ類は、カミキリムシの被害を

樹木はうっそうと茂ってきました。

受けやすい時期となります。

農薬を散布する事にとっても敏感になるかもしれません。農薬の散布回数を減らすにはいろいろありますが、まず大切なことは「病気の予防」「害虫の早期退治」をすることです。そして、どんな薬剤を散布する時も用法用量をきちんと守ります。

下の写真は、ハナミズキについたうどんこ病です。（葉の表面が、白い粉をふいたようになり茶色く黒ずんできます。）



【剪定】 常緑広葉樹は、剪定を行い次の新芽が出るようにします。混み過ぎた内側の枝や徒長枝を切ることで、風通しを良くして病害虫の防除をします。針葉樹も混み過ぎた枝を剪定します。落葉樹は、徒長枝を切る程度にします。どの樹種も切り過ぎるとこれからの夏の暑さに耐えられずに弱ってしまいます。伸び切った枝葉を全部切ってスッキリさせたい所ですが、樹木

にとっては、災難です。アジサイは、開花後に花柄を摘み取って来年の花芽ができるようにします。

【植え替え】これからの時期は、暑さに向かうためにむきませんので、秋の彼岸頃まで待ちます。



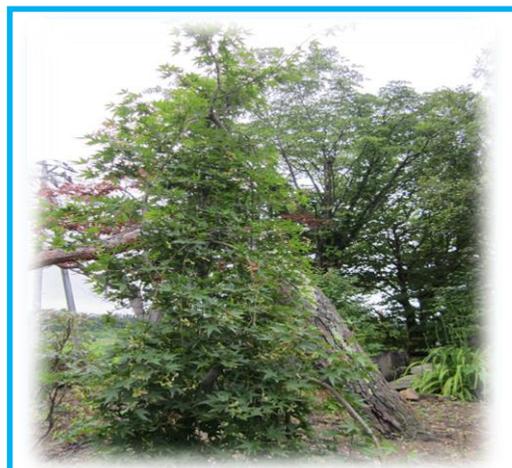
アジサイの花が咲きましたあ!

先月、花芽をたくさんつけた「アジサイ」の花が綺麗に咲き始めました。10種類の「アジサイ」を鉢植えから地面に移植したときは、ちょっと花が咲くかどうか不安でした。水やりや除草など見守り続けてきたかがありました。良かったあ、ホッとしました。とんがりふれあい館の東側に咲いています。どうぞ、見にいらしてください。

【街で見かけた植物】

【流泉（りゅうせん）】（カエデ属イロハモミジ節）

イロハモミジの枝垂れ性の品種です。埼玉県安行の植木園で作られ市場に出回っています。しかし、まだ郡山では多くは見かけません。昨今の敷地の狭い場所でも植える事が可能なカエデです。枝は地面についてしまうくらいに強く伸びます。新緑から紅葉まで葉の変化も楽しめ、芽の吹きも良く細かい枝を発生し、綺麗な樹形になります。カエデ類は、実生により簡単に殖えていきます。その為に、新しい品種が出てきます。イロハモミジとヤマモミジの違いがあなたには判りますか？答えは、次号を楽しみにしてください。



** みどりのつふやき **

6月13日に園内のチューリップ球根を掘り起こしました。今は、新しい花を植えるために花壇の土をうなり、新しい花々を植えています。どんな花々が咲いているか楽しみにしててくださいね。

遅れていた梅雨に入り、植物にとっては恵の雨となりました。最近の異常といえるような現象は、地球温暖化などが関係しているのかもしれない。緑があることによって、環境は和らげられる効果があります。

都会の真ん中にある「明治神宮の森」には、絶滅している動植物が樹木の壁で外界と遮断されてきたことで、そこだけに生息しています。ホント不思議です。しかも、それがある学者の緻密な計算で50年、100年後を見据えて、都会の真ん中に人の手が入らない【太古の森】をつくるというから驚きです。唯一、人の手が入るのは、参道に落ちてきた落葉を森に返すという作業だけです。自然界のルールを崩すことなくあるがままの姿にしておくことで、生命を生かし生かされていく。

私たち人間は、どうだろう??って、ちょっと考えてしまいました。。。。。。。

